

監査方針

監事 石田 剛史

監事 小山 慶

監事 八木 崇博

諸先輩方から創始の想いを引き継ぎ、明るい豊かな社会の実現に向けた上越青年会議所の運動や活動も本年で創立53年目を迎えると共に、より地域に根付いた運動展開を目的とした公益社団法人格取得から6年が経ちました。地域の未来を創造し、今まで以上に地域の負託と信頼に応えていく為にも、公正かつ適切で厳正な監査を行いながら、より公益性ある青年会議所らしい運動や活動へと確立させていく事が必要であると考えます。

まず、監事職務の一つとして「理事の職務執行を監査すること」とあります。昨今のLOM内において会員の平均在籍年数が短期化している現状を踏まえて、理事としてJAYCEEとして各役職の責務や守るべき行動規範といった対内的な会員の育成を行うと共に、時には組織を客観視しながら公正に監査してまいります。次に、事業実施前には、定款諸規定に基づいている事を第一に、公益社団法人としての事業計画である事と、それに似合ったスケジューリングがしっかりと成されている事など、各事業がより効果的に事業を進められるよう監査してまいります。また、会計面では内部資料の徹底開示を求め、関係書類が適切に揃えられているか、計算書類に不実や記載漏れがないかを適正に確認します。そして、事業実施後においても各事業が計画通りに進められたか正確性と効率性を厳正に監査し、より効果的な方法がなかったか、達成基準が低かった場合や満たなかった場合にはなぜそのような結果に至ったのかを検証し、今後の事業実施における有効的な引き継ぎを行えるよう助言しながら公益社団法人の監事としての職務を果たしてまいります。

公益社団法人として、JAYCEEとして、地域の負託と信頼に応えていくと共に、より公益性ある運動や活動を行っていく中で、会員の成長が組織の成長へとつながり、青年会議所らしい創造と行動のその先には、明るい豊かな社会が実現すると確信します。

文責者 小山 慶